

<<阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業>> 介護サービス事業所部会【報告書】			
サービス種別	通所介護事業所部会(通所介護、通所リハ、訪問リハ)		
開催日時	令和8年2月17日(火) 13:30~15:00	開催場所	阿南市役所 202会議室
部会代表者	松村	報告者	松村
議題	①「医療・介護連携のまちづくり」4つの場面の評価について ②意見交換		

議題①	「医療・介護連携のまちづくり」4つの場面の作成について		
検討した項目	現在作成できている4つの場面の内容を周知。4つの場面の今年度評価について意見を徴収する。		
検討内容	日常の療養支援につて… 利用者の体調や身体の変化等の情報の共有について、現在はほとんど事業者間で情報のやり取りをすることがなく、一旦CMに連絡し関連事業者に情報共有をしている。その為、CMに連絡が付かないときは情報の共有遅れや、報告漏れが生じている。事前に情報が適切に共有できれば、利用者の状態の変化に対応しやすかったり、また事前準備もできるので適切なケアにつなげることができるのではないか。		
結論	CMに連絡が付きづらい状況の時は事業者間で情報のやり取りができるよう環境の整備を行う。事業者間同士の横の繋がりを広げるため親睦会等の開催を検討していく。また他の部会との交流になるような研修等も検討していく。		
残された課題	CM連絡が困難な場合を含めた事業者間の情報共有体制の整備や、他職種間の連携強化が引き続き課題である。事業所間の横の繋がりを深めるための親睦会や部会活動について、継続的かつ参加しやすい形で実施していくことが求められる。また今年度の評価結果を次年度の具体的な取り組みへ反映させる仕組みづくりが求められる。		
備考			

議題②		意見交換
検討 項目 目した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子申請GビズIDの活用について</li> <li>・ケアプランデータ連携システム導入について</li> <li>・昼食代変更について</li> </ul>	
検討 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GビズIDの運用が4月より開始される。活用方法が周知できているか</li> <li>・ケアプランデータ連携システムを導入してのメリットとは</li> <li>・物価高騰しているため昼食代金について見直しをしようか</li> </ul>	
結論	<p>電子請求に係るGビズIDの活用については、現時点で実際に活用している事業所はなく、運用面に対する不安の声が多く聞かれた。また、ケアプラン連携システムについては、導入している事業所は少なく今後の導入を検討している事業所が多い状況である。昼食代金については、物価高騰の影響を踏まえ、値上げについて前向きに検討していく必要があるとの意見が多く聞かれた。</p>	
残された 課題	<p>各制度の円滑な活用、導入に向けた支援体制の整備が必要であると考え。食事代金見直しについては、物価高騰の状況を踏まえつつ、利用者負担への影響も考慮した上で、引き続き検討を進めていく必要がある。</p>	
備考	<p>次年度の部会長と副部会長については今年度と同様、部長・松村、副部長・原・汐崎が担当し部会運営を継続する。</p>	

【会議風景写真】

